様々なヒョウタンが並ぶ=鎌倉市

の県立大船フラワーセンター

横浜総局 231-8504 横浜市中区日本大通15 **☎** 045.681.6101 fax 045.641.9696 mail kanagawa@ asahi.com

湘南支局 T251-0052

藤沢市藤沢575-10

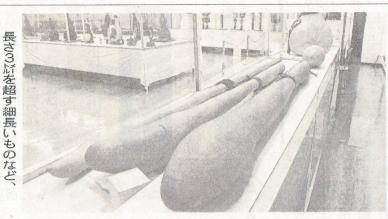
3 0466·26·4911 fax 0466·26·4912

横須賀 ☎046.822.0211 鎌倉 ☎0467-22-0123

小田原 20465-32-3822

厚木 25046-221-3300

川崎 2044-244-4306



ターで開かれている。18日まで。 2001年~6年「花おりおり」 ウタン約170点を紹介する展示会 「載した進化生物学研究所長の湯浅 ヒョウタン収集家で、朝日新聞で 世界各地の様々な形や用途の 鎌倉市の県立大船フラワーセン 上日 を

ウタンの「多様性」楽しん

で。 円など。9月11日は休園 ~午後4時半(最終日は午後4時ま ヒョウタンの「多様性」 しての用途なども紹介されており、 タンの展示も。 び「闘蟋」用のコオロギを飼育すたとされるコオロギを戦わせる遊 る容器として使われていたヒョ 中には、 JR大船駅徒歩約20分。 400円、学生·20歳未満200 フラワーセンター入園料は大 中国 また、スピーカーと 唐の時代に始まっ が楽し

午前10時

も並ぶ。 れた装飾用の韓国のヒョウタンなど を施したもの、物語風の絵画が描か 超える細長いタイプや、表面に彫刻 が展示されている。 ほど多様性のある植物はほかにな と語る湯浅さん。長さが3次を 形、大きさ、種など、 ヒョウタ

浩史さん(83)=鎌倉市在住=が、 まが所蔵する高さ108だい、 本愛瓢会会員が育成、加工したもの 身のコレクションを出品。 190だの特大オオヒョウタンなど 愛瓢家として知られる秋篠宮さ また全日 胴回り 自

鎌倉版

■発 行:株式会社タウンニュース社 https://www.townnews.co.jp

ウ

■編集室:〒 251-0021 藤沢市鵠沼神明 5-13-19 TEL:0466-55-4777(代)FAX:0466-55-4888

2023年 (令和5年) 9月8日金号

No.919



界最

も

大船フラワーセンターで開催中の 「ひょうたん展」に、高さ108cm、胴 回り190cmの特大オオヒョウタンが展 示されている=写真。企画展を監修 し、全日本愛瓢会相談役の湯浅浩史さ ん(83・岩瀬在住)は「くびれたもの

では世界最大級」と話す。

特大の展示品は秋篠宮さまが所蔵 し、容量は100ℓを超える。会場には ほかにも170点が並び、ひょうたん製 の音楽スピーカーや約5000年前の種も 展示されている。9月18日まで。

2188) °

牧野大輔

進化生物学研究所の

NAGAWA vokohama@mainichi.co.jp

横浜支局

〒231-0005 横浜市中区本町1の3 綜通横浜ビル6階 045.211.2471 FAX045.211.2475

川崎支局 044.589.5171 相模原支局 042 • 705 • 4516 横須賀通信部 046.822.0053 0463 • 20 • 8357 平塚通信部 0465 • 32 • 2217 小田原通信部

広告は 每日広告社横浜支社 045 · 201 · 6804 03 · 3208 · 8611 每日折込

購読は

© 0120 · 468 · 012

れている。18日まで。 ター(鎌倉市)で開か 飾を競う~」が日比谷 な形や大きさをそろ 様性」にスポットをあ え、約170点が展示 から始まり3回目。今 化壇大船フラワーセン ,展~形・大きさ・装 展示会は2021年 大きさが35%程か 「ひょうたんの多 ヒョウタ



大小さまざまなひょうたんと展示の協 力に携わった湯浅浩史さん 鎌倉市で

知られていない。大人 問い合わせはフラワー センター (0467 〇〇円、高校生、 以上は150円など。 んの多様性はあまり 湯浅さんは「ひょう 子どもでも見て楽し い」と話す。 て学ぶ機会にしてほ で、ひょうたんにつ 人園料は20歳以上 65 歳

世界のひょうたん70 18日まで鎌倉で展示会 点

所長でひょうたん収集 家の湯浅浩史さん(83) 本愛瓢会 るひょうたん加工品 の名誉総

な形で利用されている

世界各地でさまざま

ひょうたん」の特徴

や魅力を知ることがで

などで収集した器やが、アジアやアフリカ 装飾品として使われ 裁を務める秋篠宮さま

始まったとされるコオ 特大ひょうたんが並 が所蔵する高さ108 うたん容器などもあ で用いられる専用ひょ ロギを戦わせる「闘蟋 中国・唐の時代に 胴回り190%の